

India Weekly

2019年2月25日



(対象期間：2019/2/18～2019/2/22)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年2月22日)



【株式市場】

前週発生したジャム・カシミール州でのテロを受けて地政学的リスクに対する懸念がくすぶったことなどから、火曜日までインド株式市場は軟調となりました。火曜日までに代表的な株価指数であるSENSEX指数が9日連続の下落となり、割安感が出ていたことから、週半ば以降買い戻す動きが出てインド株式市場は反発し、週間でも上昇しました。

2019/2/15	2019/2/22	変化率
35,808.95	35,871.48	+0.17%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年2月22日)

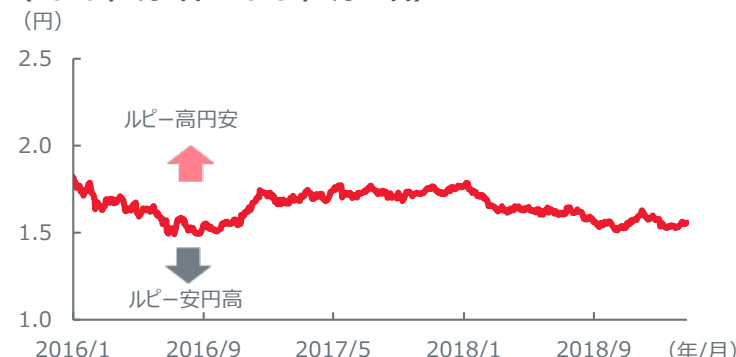


【債券市場】

インド準備銀行（中央銀行、RBI）による国債買い入れオペが3月も続くとの期待などから、インド10年国債利回りは週半ばに一時低下（価格は上昇）する場面もありましたが、原油価格の上昇傾向が嫌気されて、概ね10年国債利回りは上昇（価格は下落）し、週間でも利回り上昇となりました。

2019/2/15	2019/2/22	変化幅
7.359	7.419	+0.060

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年2月22日)



【為替市場】

原油高がルピーの重石となったものの、米中の通商協議の進展への期待感から週半ばにアジア通貨が対米ドルで強含む中で、ルピーも対米ドルで上昇しました。また、円が対米ドルで下落したことから、ルピーは対円でも上昇しました。

2019/2/15	2019/2/22	変化率
1.550	1.558	+0.50%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国グループ・デューデリジェンス・グループ

英国グループ・デューデリジェンスは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャルとは関係がありません。